

大会第1日〔5月25日(木)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 花土 弘 (NICT) GPM/DPR(全球降水観測計画主衛星搭載二周波降水レーダ)降水判定フラグの改良
- P102 妻鹿 友昭 (阪大工) GSMaP 雨量計補正降水マップ(GSMaP Gauge)におけるアルゴリズム変更の影響
- P103 大石 哲 (神戸大) GPS を用いた大阪湾周辺における水蒸気流入に関する研究
- P104 中島 大岳 (古野電気) 小型 X バンド二重偏波気象レーダーの降雨観測精度検証
- P105 磯田 総子 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理~地表面クラッタの時間変化~
- P106 橋口 浩之 (京大生存研) 大気成層構造の小型無人航空機・MU レーダー同時観測
- P107 瀬古 弘 (気象研) 高頻度高密度地上観測である首都圏地震観測網の気象データの同化実験(1)
- P108 末木 健太 (東大大気海洋研) Large Eddy Simulation によるスーパーセルのエントレインメント率の推定
- P109 橋本 明弘 (気象研) JMA-NHM 降雪種再現性の評価
- P110 滋野 陽介 (新潟大院) 北陸地域の冬季雷発生時における総観場の特徴
- P111 武村 一史 (京大院理) 重合格子法を用いた非静力学モデルへの保存性補間法の実装
- P112 岡崎 淳史 (理研計算科学) 高密度降水レーダ反射強度の観測システムシミュレーション実験
- P113 大泉 伝 (JAMSTEC) スーパーコンピュータ「京」を用いた豪雨の高解像度アンサンブル実験
- P114 北畠 尚子 (気象大) 2016年8月末の北日本の大雨に関連した低気圧と高気圧の強度変化
- P115 柴田 清孝 (KUT) 高知県の過去の雨量解析におけるデータ比較検証
- P116 野原 大輔 (電中研) メソアンサンブル予測を用いた風力発電出力急変事象(ランプ現象)予測の不確実性評価
- P117 Yovita Wangsaputra (東工大院) Numerical Simulation of Urban Boundary Layer over Flat and Realistic Topography
- P118 板倉 拓哉 (理科大) 熱環境・生理量の同時測定による温熱感覚決定要因の調査
- P119 平泉 浩一 (JWA) 熱中症患者数に関する予測情報の発表について
- P120 田中 実 (なし) 北半球の大陸東岸で冬から春に降水量の年変化の極大を観測する雨季
- P121 永田 玲奈 (帝京大) 日本の日降水量データを用いた20世紀における台風経路の復元
- P122 野坂 真也 (MRI) 海面水温変更による地域気候モデルの再現性の変化
- P123 保坂 征宏 (気象研) 大気モデルの地球システムモデル対応について—プログラム開発の視点から—
- P124 西 憲敬 (福岡大理) ITCZ 領域にみられる帯状雲域の変形過程
- P125 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた CINDY2011/DYNAMO 期間の水蒸気・熱収支解析
- P126 高須賀 大輔 (東大大気海洋研) 全球水惑星実験で選択される季節内振動の発生機構
- P127 久保川 陽呂鎮 (東大大気海洋研) ストレッチ版大気海洋結合モデルにおける大気海洋相互作用の研究
- P128 清水 厚 (環境研) ライダーにより検出された黄砂現象の中長期的な変動
- P129 深堀 正志 (気象大) 天空光の直線偏光度とオングストローム指数の関係
- P130 稲津 將 (北大院理) パーシステント・ホモロジーによる低気圧・前線トラッキング

大会第2日〔5月26日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 島田 正樹 (空自) 人工降雨の手法を用いた降水量軽減シミュレーション
- P202 島田 正樹 (空自) WPR を用いた乱気流予測と航空機運航への活用
- P203 小司 禎教 (気象研) 船舶搭載 GNSS による可降水量解析—反射波影響除去の重要性—
- P204 佐野 哲也 (NICT) MP-X の観測データを用いた HB 法による PAWR 観測の降雨減衰補正
- P205 岩崎 博之 (群馬大教育) GPM Ku 帯レーダーとモンゴル空港レーダーで得られたエコー強度の比較
- P206 工藤 玲 (気象研) グライダー搭載 OPC によるエアロゾル鉛直分布の地上リモートセンシング手法の検証
- P207 久慈 誠 (奈良女子大) 船舶観測データ解析による雲の研究
- P208 平沢 尚彦 (極地研) 南極氷床上を拠点とした夏季 45 日間の観測—第 58 次南極観測夏隊大気・雪氷チームの報告—
- P209 吉住 蓉子 (九大院理) ビデオゾンデ観測データを用いた雲物理スキームの精度評価
- P210 大東 忠保 (名大宇地研) Ka 帯レーダーを用いた台風 1618 号(Chaba)の上層雲の観測
- P211 大塚 道子 (気象研) ひまわり 8 号雲水量同化に向けたデータ特性調査
- P212 近藤 圭一 (理研計算科学) NICAM-LETKF を用いたマルチスケールデータ同化
- P213 金子 凌 (水理研) WRF を用いた平成 28 年度 6 月 20 日からの熊本豪雨の再現実験
- P214 林 修吾 (気象研) モデル高解像度化による夏季不安定性降水の再現性の調査
- P215 野澤 千菜美 (酪農大院) 降水分布を考慮した石狩川流域における出水の再現
- P216 谷田貝 亜紀代 (弘前大理工) ヒマラヤ山岳域の landslide 災害への局地的降水影響の評価 (続報)
- P217 鈴木 智恵子 (JAMSTEC) 領域気象モデルによる夏季の再現実験に対する土壌水分と人工排熱の影響
- P218 河野 恭佑 (千葉工大) 東京都市街地における WBGT 移動観測
- P219 山森 賢也 (東理大) 先進技術を用いた暑熱対策設備の効果検証
- P220 増田 南波 (弘前大) 日本における日降水グリッドデータの風による捕捉損失の補正
- P221 村上 茂教 (気象大) 偏西風ジェットの出現位置の経年変化と運動量・エネルギー輸送との関係
- P222 小林 大輝 (JMA) 山岳波の初期値問題の解析解
- P223 飯田 大晴 (富山大・理) 熱帯域東インド洋における地域による水蒸気変動特性の違い
- P224 中山 尋斗 (学芸大) 西部北太平洋暖水域における水温勾配と台風発達との関係
- P225 吉田 聡 (JAMSTEC) 北太平洋の爆弾低気圧が海洋深層に及ぼす影響
- P226 山下 晃平 (東工大) WRF-Fire による火災延焼シミュレーション
- P227 財前 祐二 (気象研) エアロゾルの吸湿膨張による視程低下
- P228 関根 広貴 (東理大) 南関東における大気エアロゾルの湿度特性
- P229 玉井 健太郎 (横浜国大) 北海道地方の爆弾低気圧ノモグラム
- P230 山口 純平 (東北大院理) 2016 年 1 月の東アジアにおける寒気の形成と流出
- P231 柴田 清孝 (KUT) 化学-気候モデルの上部成層圏・中間圏の鉛直解像度増加が及ぼす影響: 熱帯成層圏半年振動
- P232 永野 良紀 (日大・文理) 東北地方部における風速の急変動現象気学的要因
- P233 築地原 匠 (九大院・理) 近年の北海道地方の暴風雪の頻発と爆弾低気圧活動
- P234 遠藤 あずさ (筑波大学地球科学専攻) 線形傾圧モデルを用いた SAM の地形依存性の解明

大会第3日〔5月27日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 古澤 文江 (ISEE) 衛星観測データを用いた降水プロダクト間の比較 II
- P302 余郷 友祐 (気象大) ひまわり 8 号のデータを用いた積雪域識別の高精度化
- P303 山内 晃 (長大院水産環境) CloudSat-CALIPSO 併用データを用いたユーラシア大陸広域の雲層内氷相割合の変化について
- P304 大石 哲 (神戸大) 短時間降雨予測精度向上のための近距離レーダーネットワークを用いた三次元風速場解析に関する研究
- P305 梅原 章仁 (気象庁) 二重偏波 DRAW による降水強度推定・種別判別技術の開発
- P306 中島 健 (理科大) 可搬型 MRT 計測に向けた Globe anemo-radiometer のパラメータ同定手法の検討
- P307 神 慶孝 (環境研) 水雲の偏光解消度と有効ライダー比を用いたシーロメーター/ライダー信号の校正手法
- P308 加瀬 紘熙 (筆保研究室) 黒い百葉箱と白い百葉箱の温度差 ~百葉箱が白でなければならない理由~
- P309 横矢 成美 (山口大院) 降水粒子地上直接観測による融解層内の鉛直構造の考察
- P310 岩崎 杉紀 (防大地球) 積乱雲の雲頂から飛び上がる雲の撮影
- P311 山田 芳則 (気象研) 気象庁非静力学モデルによる雨水やみぞれの予測可能性
- P312 小田 真祐子 (気象研) 全球モデル用アンサンブルに基づく変分法同化法のための相関構造の調査
- P313 新堀 敏基 (気象研) 2016 年阿蘇山爆発的噴火に伴う降灰予報の検証
- P314 渡邊 俊一 (東大・大気海洋研) 日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) の理想化実験:Part II 渦状擾乱の形成過程
- P315 紀平 旭範 (富山大) 冬季日本海における日本海寒帯気団収束帯に関する研究
- P316 藤部 文昭 (首都大・都市環境) 数分~数十分スケールの地上気温変動の気候学的特性
- P317 渡邊 武志 (東海大 TRIC) エネルギー需要予測モデルのための入力気象データに関する検討
- P318 中村 祐輔 (立正大院) 関東平野内陸部における大気境界層高度のドップラーライダー観測
- P319 菊池 悠馬 (理科大) 都市オアシスの暑熱緩和効果に関する実験的検討
- P320 福田 崇文 (KU) 四国における降雪分布の地域特性に関する解析
- P321 渡来 靖 (立正大・地球環境科学) JRA-55 で見られるジェット気流の長期傾向
- P322 西原 佑亮 (九大・理) 西日本周辺域で報告された乱気流の発生環境場
- P323 加藤 咲 (福岡大理) 熱帯太平洋における大気中の IO ラジカルの時空間変動~MAX-DOAS 法による船上観測~
- P324 西本 秀祐 (気象大学校) 台風の上下一体性維持のメカニズム -Vortex Resiliency-
- P325 杉本 周作 (東北大学学際研) 日本東岸沖暖水渦が冬季大気場に及ぼす影響
- P326 日暮 明子 (NIES) ひまわり 8 号観測によるエアロゾル解析
- P327 小野里 早苗 (気象大) 天空放射輝度偏光測定から推定されるエアロゾルの光学特性
- P328 佐藤 丈徳 (東理大) 東京スカイツリーで観測された新粒子生成
- P329 平田 英隆 (九大院理) 2017 年 1 月上旬に発生した爆弾低気圧のメソスケール構造
- P330 中村 東奈 (富士通 FIP) 南米オゾン予測に向けたナッジング気象場の検討
- P331 水瀬 正雄 (長岡市) 日本における気温の日別平滑年値の変化について
- P332 坂崎 貴俊 (ハワイ大 IPRC) 領域モデルを用いた地上気圧潮汐の支配プロセスの研究
- P333 野口 峻佑 (気象研) 北半球における極夜ジェット振動の海面水温偏差に対する応答

大会第4日〔5月28日(日)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P401 石崎 春花 (首都大・都市環境) 全国の AMeDAS 雨量と解析雨量の比率の空間分布に関する研究
- P402 松山 洋 (首都大・都市環境) JRA-55 と GPS による可降水量の比較
- P403 金田 康世 (首都大・都市環境) GPS 可降水量に着目した「平成 24 年 7 月九州北部豪雨」の事例解析
- P404 岩崎 杉紀 (防大地球) CPS 雲粒子ゾンデによって観測された mixed-phase cloud の特徴